

2. 学校概要

神奈川県立産業技術短期大学校

管理課

学生課

産業技術課

生産制御課

電子情報課

人材育成支援課（人材育成支援センター）



2-1 本校の成り立ちと教育訓練目標

本校は、企業ニーズに対応した高度で専門的な知識・技術を有するエンジニア養成を目的として神奈川県が設置運営する職業能力開発短期大学校です。

学校教育法を設置根拠とする大学・短期大学とは異なり、「職業能力開発促進法」に基づき設置されている「職業能力開発施設」という位置付けになります。

同法を設置根拠とする施設のうち、職業能力開発校（本県では総合職業技術校）が学卒者、離転職者及び在職者を対象として期間、内容ともに幅広い訓練（普通課程等）を行うのに対し、本校は新規学卒者を主対象にした2年間の訓練（専門課程）を行い、「実践技術者」を育成します。

この実践技術者とは、専門的な技術・知識とものづくりに関する幅広い高度の技能を併せ持ち、豊かな創造力と優れた行動力を兼ね備えた課題解決型人材と定義付けています。

平成7年4月1日の開校以後、企業の皆様方に本校の実践技術者育成方針を評価していただき、高い就職率のもと、製造業を中心とする多くの企業様に卒業生を送り出しています。

2-2 本校の特色

本校は前述のとおり「教育・研究施設」ではなく、あくまで職に就くための知識や技術を身に付ける「職業能力開発施設」ですので、授業カリキュラムは企業において求められる実践的な知識・技術の修得をめざした構成になっています。

授業カリキュラムは二年制の短期大学校でありながら、必須履修単位数 156 単位、総授業時間数 2800 時間となっており、四年制大学（文科系）の授業量に匹敵するボリュームの教育訓練を行っています。総授業時間に占める実習・実技の割合は6割以上にのぼり、一人1台の機器での実習や少人数教育制とあいまって、確かな技術の修得を可能としています。さらに、専門科目の学科や実験・実習のほか、英語、環境論、社会経済概論、ビジネスマナーなどの教養科目も充実しています。

また、学生は企業実習（インターンシップ）を経験しているため、就職先のミスマッチも少なく、就職後も意欲とやりがいを持って仕事に取り組むことができている。そして、卒業生の頑張りや、企業様から高い評価をいただいているという好循環を生んでいます。

設置学科は、生産技術科、制御技術科、電子技術科、産業デザイン科、情報技術科の5学科となっています。各学科の定員は40名で、1学年200名、全学年400名の定員です。

令和2年度から留学生の受け入れを開始し、令和5年3月に2期生10名が卒業し、県内を中心とした日本の企業に就職しています。

また、神奈川県、県教育委員会、日本アイ・ビー・エム株式会社と連携して取り組んでいる「かながわIT人材教育モデルP-TECH」は、3年目を迎え、高校1年生～3年生まで3学年のそれぞれのプログラムが軌道に乗り始めています。令和6年度には、P-TECH生が入学する予定で、本校でも受け入れの準備を進めています。



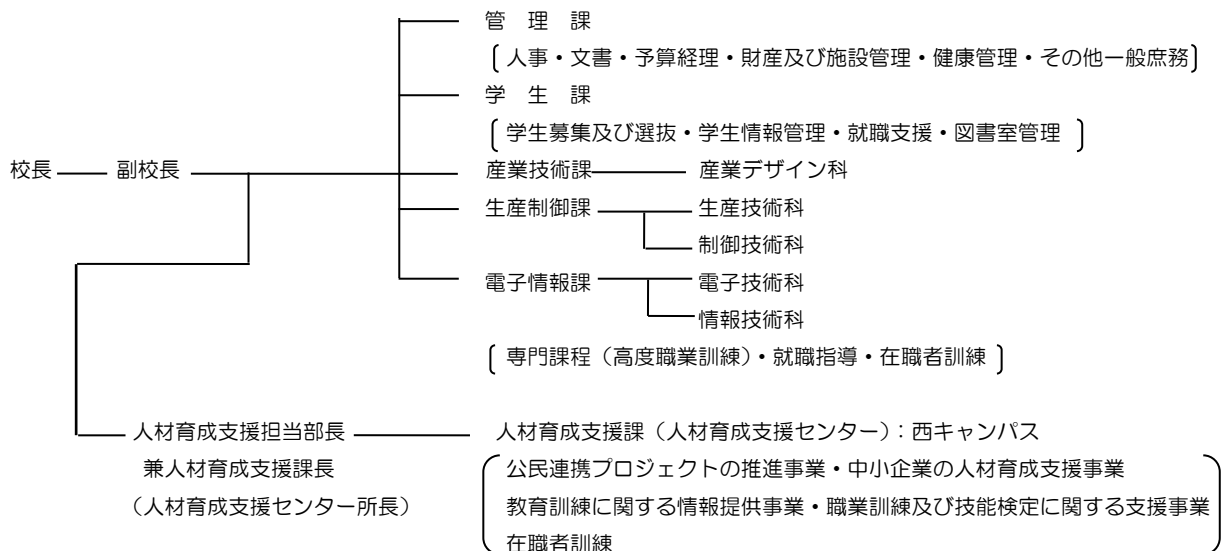
2-3 沿 革

昭和 61 年 4 月 1 日	神奈川県立の高等職業技術校等に関する条例の一部改正により、神奈川県立横浜工業技術職業訓練所（昭和 39 年設置、統合時は神奈川県立横浜高等職業訓練校）及び神奈川県立技能訓練センター（昭和 44 年設置）を統合し、神奈川県立横浜高等職業技術校を横浜市旭区中尾 60 番地 1（現：中尾 2 丁目 4 番 1 号）に設置
平成 6 年 3 月 30 日	神奈川県立産業技術短期大学校条例公布 （平成 7 年 4 月 1 日施行、一部平成 6 年 10 月 1 日施行）
平成 6 年 7 月 8 日	労働大臣より神奈川県立産業技術短期大学校の設置認可 （労働省収能第 129 号）
平成 7 年 4 月 1 日	神奈川県立産業技術短期大学校開校
平成 8 年 3 月 31 日	神奈川県立横浜高等職業技術校を廃止
平成 22 年 4 月 1 日	支所として神奈川県立産業技術短期大学校人材育成支援センターを設置
平成 26 年 3 月 31 日	支所を廃止して神奈川県立産業技術短期大学校に統合
平成 31 年 4 月 1 日	離職者等委託訓練事業を神奈川県立東部総合職業技術校二俣川支所に移管
令和 5 年 2 月 3 日	建替えにより新たな西キャンパスを竣工

（参考）他県の職業能力開発短期大学校の開校状況

平成 5 年 4 月	山形県立産業技術短期大学校	平成 17 年 4 月	茨城県立産業技術短期大学校
平成 7 年 4 月	長野県工科短期大学校	平成 21 年 4 月	広島県立技術短期大学校
平成 9 年 4 月	熊本県立技術短期大学校	//	福島県立テクノアカデミー郡山
//	岩手県立産業技術短期大学校	平成 22 年 4 月	福島県立テクノアカデミー会津
平成 10 年 4 月	大分県立工科短期大学校	//	福島県立テクノアカデミー浜
平成 11 年 4 月	山梨県立産業技術短期大学校	平成 28 年 4 月	長野県南信工科短期大学校
平成 16 年 4 月	岐阜県立国際たくみアカデミー	令和 3 年 4 月	静岡県立工科短期大学校

2-4 組 織



2-5 定員・授業料等

(1) 設置学科・定員

学 科 名	1 学 年		2 学 年		総 定 員
生産技術科	40名	(3名)	40名	(3名)	80名
制御技術科	40名	(3名)	40名	(3名)	80名
電子技術科	40名	(2名)	40名	(2名)	80名
産業デザイン科	40名		40名		80名
情報技術科	40名	(2名)	40名	(2名)	80名
計	200名	(10名)	200名	(10名)	400名

注：() 内数字は留学生で内数

(2) 学年及び学期（学則による。※）

学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日まで、1年間を2期に分けて授業を実施します。

前 期 4月1日から 9月30日まで

後 期 10月1日から 3月31日まで

(3) 休業日（学則による。※）

日曜日、土曜日、国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日

開校記念日 7月 8日

夏季休業 8月 1日を含む週から 8月31日を含む週までの間の4週間

冬季休業 12月27日から 1月5日

春季休業 修了日翌日から 入学式当日まで

(4) 授業時間（学則による。※）

始 業 8時50分

終 業 16時10分（水曜日は14時30分もしくは16時10分）

休 憩 12時00分から 13時00分

(5) 授業料等

区 分	入学検定料	入 学 料		授業料・聴講料	証明書交付 手数料
		入学選抜の合格 発表の日の1年 前から引き続き 神奈川県内に住 所を有する者	その他の者		
学 生	18,000円	112,800円	263,300円	年額 390,000円	1通につき 400円
聴講生	9,900円	21,000円	49,900円	1単位 5,100円	

(※) 学期の区分、休業日、授業時間は、変更になることがあります。

2-6 入学試験実施状況(令和5年度・第29期生)

入試状況	募集	応募者	受験者	合格者	倍率	入学者	備考
推薦入試	125名	71名	71名	67名	1.06	67名	男 107名 女 30名
一般入試	65名	70名	69名	67名	1.03	62名	
一般入試留学生枠	10名	9名	8名	8名	1.00	8名	
合計	200名	150名	148名	142名	1.04	137名	

2-7 学年別応募・入学状況

		令和5年度生						令和4年度生						
		1年生						2年生						
		生産技術科	制御技術科	電子技術科	産業デザイン科	情報技術科	計	生産技術科	制御技術科	電子技術科	産業デザイン科	情報技術科	計	
期間		2年	2年	2年	2年	2年		2年	2年	2年	2年	2年		
定員		40	40	40	40	40	200	40	40	40	40	40	200	
応募者の過	応募者	15(1)	20(1)	35(1)	35(22)	45(8)	150(33)	22(3)	26(1)	36(4)	42(28)	57(11)	183(47)	
	受験者	15(1)	19(1)	34(1)	35(22)	45(8)	148(33)	22(3)	26(1)	35(4)	42(28)	56(11)	181(47)	
	合格者	15(1)	18(1)	33(1)	35(22)	41(7)	142(32)	20(3)	26(1)	34(4)	40(28)	40(6)	160(42)	
	辞退者	0(0)	0(0)	1(0)	2(2)	2(0)	5(2)	1(0)	0(0)	3(0)	0(0)	0(0)	4(0)	
入学者		15(1)	18(1)	32(1)	33(20)	39(7)	137(30)	19(3)	26(1)	31(4)	40(28)	40(6)	156(42)	
内、留学生		2(1)	2(0)	2(1)	-(-)	2(0)	8(2)	1(0)	3(1)	2(1)	-(-)	2(2)	8(4)	
入学状況	年齢別	18歳	5(0)	11(1)	24(0)	27(17)	29(6)	96(24)	11(2)	18(0)	19(0)	35(25)	30(3)	113(30)
		19歳	3(0)	2(0)	6(0)	3(2)	5(1)	19(3)	4(0)	3(0)	7(2)	3(1)	4(0)	21(3)
		20~29	7(1)	5(0)	2(1)	3(1)	5(0)	22(3)	4(1)	5(1)	5(2)	1(1)	6(3)	21(8)
		30~39	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
		40~49	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	1(1)
		50~59	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
		60歳以上	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
	学歴別	高卒	11(0)	13(1)	30(0)	31(20)	37(7)	122(28)	18(3)	23(0)	28(3)	40(28)	38(4)	147(38)
		短大卒	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
		大卒	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	1(0)
		その他	4(1)	5(0)	2(1)	2(0)	2(0)	15(2)	1(0)	3(1)	2(1)	0(0)	2(2)	8(4)
	居住別	横浜	8(1)	8(0)	18(0)	14(10)	15(5)	63(16)	9(1)	3(0)	8(1)	14(10)	15(1)	49(13)
		川崎	1(0)	3(0)	2(0)	1(0)	5(1)	12(1)	2(1)	3(0)	2(0)	4(3)	11(2)	22(6)
相模原		0(0)	0(0)	2(0)	5(4)	3(0)	10(4)	1(0)	3(0)	4(0)	7(6)	3(0)	18(6)	
横須賀三浦		0(0)	0(0)	2(0)	4(1)	2(0)	8(1)	2(0)	2(0)	6(0)	4(2)	2(1)	16(3)	
県央		2(0)	0(0)	3(0)	5(2)	7(1)	17(3)	4(1)	3(0)	4(0)	7(4)	3(1)	21(6)	
湘南		3(0)	5(1)	3(0)	2(2)	4(0)	17(3)	0(0)	8(0)	3(2)	3(2)	3(1)	17(5)	
西湘		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	1(1)	0(0)	2(1)	
足柄上		0(0)	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	1(0)	
その他		1(0)	2(0)	2(1)	1(0)	3(0)	9(1)	1(0)	3(1)	4(1)	0(0)	2(0)	10(2)	

注：() 内数字は女性で内数

2-8 就職の状況(令和4年度)

本校では、実践技術者として企業での活躍を志す人には就職の道を、さらに勉学を続けたい人には進学の道を、学生の意向を踏まえた進路指導を行っています。

特に就職希望者には、学生の希望や個性・能力を尊重して、専門技術分野に就職できるように、指導を行っています。

令和5年3月31日現在

科名		生産技術科	制御技術科	電子技術科	産業デザイン科	情報技術科	合計	
定員		40	40	40	40	40	200	
在籍者		19(0)	13(3)	29(2)	29(19)	33(6)	123(30)	
修了者		19(0)	13(3)	29(2)	29(19)	28(5)	118(29)	
就職希望者		19(0)	13(3)	28(2)	24(16)	23(3)	107(24)	
求人数		328	367	341	227	297	1560	
就職者		19(0)	13(3)	28(2)	23(15)	23(3)	106(23)	
自営(内数)		0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	
就職率(%)		100(-)	100(100)	100(100)	95.8(93.8)	100(100)	99.1(95.8)	
就職状況	地域別	横浜	6(0)	5(2)	13(1)	9(6)	13(2)	46(11)
		川崎	2(0)	1(0)	0(0)	0(0)	0(0)	3(0)
		相模原	5(0)	1(0)	1(0)	1(1)	0(0)	8(1)
		横須賀三浦	0(0)	0(0)	1(0)	1(1)	0(0)	2(1)
		県央	0(0)	3(1)	4(0)	1(1)	1(0)	9(2)
		湘南	2(0)	1(0)	3(0)	1(1)	0(0)	7(1)
		足柄上	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
		西湘	0(0)	0(0)	1(0)	1(0)	0(0)	2(0)
		東京	3(0)	2(0)	5(1)	8(4)	9(1)	27(6)
		その他	1(0)	0(0)	0(0)	1(1)	0(0)	2(1)
就職状況	従業員規模別	1~29	2(0)	1(0)	4(0)	1(1)	5(1)	13(2)
		30~99	7(0)	1(0)	6(0)	8(7)	5(1)	27(8)
		100~299	9(0)	6(2)	11(1)	8(3)	8(1)	42(7)
		300~499	1(0)	1(0)	5(0)	1(0)	0(0)	8(0)
		500~999	0(0)	0(0)	1(0)	1(1)	0(0)	2(1)
		1000人以上	0(0)	4(1)	1(1)	4(3)	5(0)	14(5)
平均賃金(円)		197,132	196,510	195,575	196,655	192,780	195,597	

注：() 内数字は女性で内数

就 職

令和4年度の状況（令和5年3月末時点）

就職率

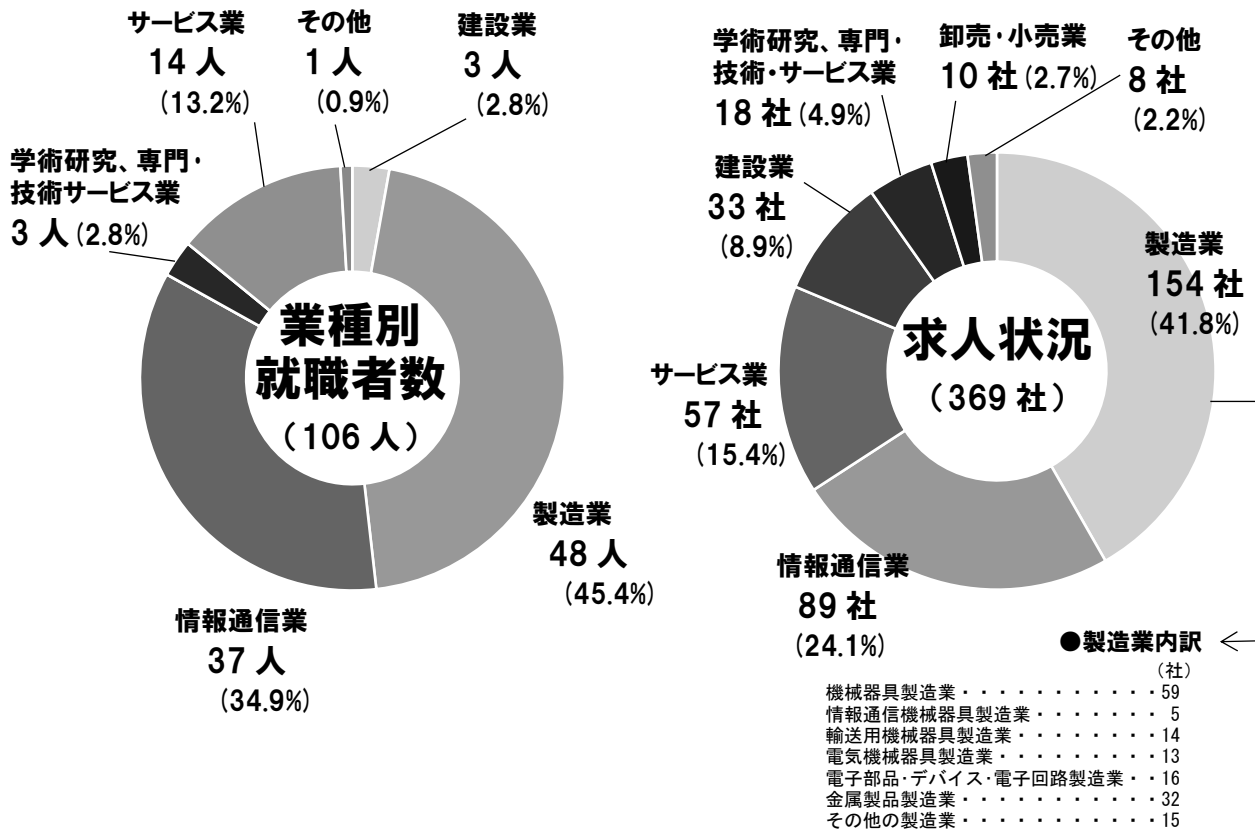
99.1%

就職者

106人

/ 107人

就職希望者



充実した就職活動支援

本校の就職活動は、1年生の前期の授業から始まります。夏季の企業実習（インターンシップ）に向けて、社会人としての基本的なマナーを学んでいます。さらに、年間を通じて、チューター（担任）とキャリアコンサルティングを行うなど、就職意識の向上を図っています。

1年次の終わりには、推進協議会の会員企業から説明を受ける「情報交流会」があり、就職活動がスタートします。さらに、学生が就職活動に悩んだときに気軽にアドバイスを受けられる体制を整え、さまざまな方法で学生の就職活動を支援しています。

個別サポート

学生の就職活動においては、各科のチューターや就職担当、学生課の求人開拓推進員が、企業選びから履歴書の書き方や面接の受け方指導まで、ステップを踏んで学生をサポートしています。

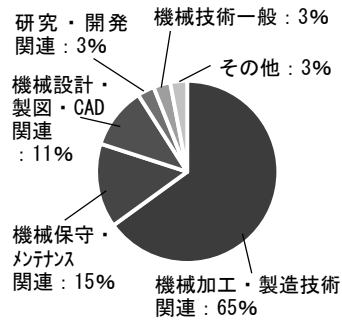


各学科の就職状況 (令和2年度～令和4年度 卒業生の主な就職先及び就職分野)

生産技術科

就職率
100%

(令和5年3月卒業生実績)



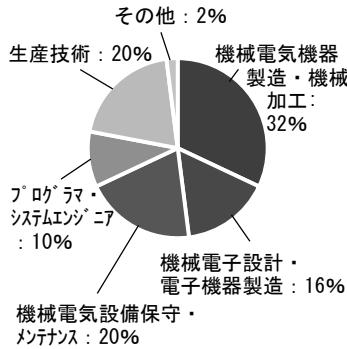
就職先

ATテックマック(株)/(株)ETSホールディングス/LC(株)/NECファシリティーズ(株)/(株)REJ/愛宕精工(株)/(株)足立機械/(株)アピリカ/荒木工業(株)/(株)オカモトオプティクス/オサ機械(株)/河西工業(株)/京浜産業(株)/(株)工研/(株)コバヤシ精密工業/(株)佐々木鉄工所/産和産業(株)/(株)勝栄電業社/湘南技術センター(株)/(株)湘南精機/昭和精工(株)/(株)新日南/新菱工業(株)/(株)須藤製作所/(株)テクモ/日本ギヤ工業(株)/日本サーモニクス(株)/日本端子(株)/(有)早川製作所/林精鋼(株)/フレアーナガオ(株)/堀硝子(株)/(株)マイスターエンジニアリング/(株)安田製作所/(株)山喜

制御技術科

就職率
100%

(令和5年3月卒業生実績)



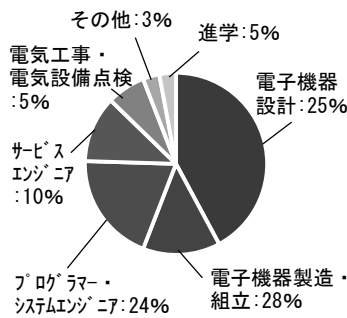
就職先

(株)アマダプレスシステム/荒木工業(株)/永興電機工業(株)/AGC(株)/エクシオ・システムマネジメント(株)/(株)エクシオジャパン/エムデン無線工業(株)/応用電機(株)/(株)オキサイド/(株)カナメックス /川崎自動車工業(株)/関東総業(株)/(株)佐々木鉄工所/産和産業(株)/シークス(株)/城山工業(株)/図研テック(株)/セントラル電子制御(株)/(株)デストプラン/日産自動車(株)/日東エレベータ製造(株)/日本ギア工業(株)/日本電設通信工事(株)/日本ビルコン(株)/日本リーテック(株)/ハル・エンジニアリング(株)/(株)ビーネックスソリューションズ / (株)日立産機システム/プライムエンジニアリング(株)/北都システム(株)/(株)マイスターエンジニアリング/(株)マグトロニクス/マルマテクニカ(株)/(株)メイテックフィルダーズ/(株)MEMO テクノス/(株)吉光工業/(株)リクルートR&Dスタッフティング /ワッティール(株)

電子技術科

就職率
100%

(令和5年3月卒業生実績)



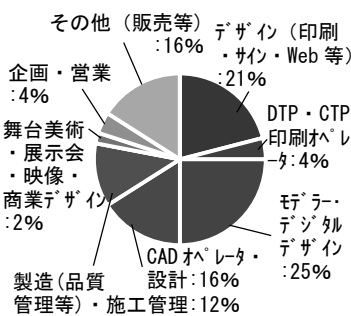
就職先

(株)REJ/(株)IJTT/(株)アイテクノ/出光興産(株)/エクシオ・システムマネジメント(株)/(株)エクシオジャパン/NSK マイクロプレジジョン(株)/(株)エヌ・ケイ/(株)エフ・トレード/(株)エム・イー/エムデン無線工業(株)/応用電機(株)/(株)オーバルテック/大森電機工業(株)/(株)オレンジテクノロジーズ/(株)カナメックス/技研電子(株)/(株)古賀電子/三興電機(株)/三波工業(株)/シークスエレクトロニクス(株)/(株)ジェイエスピー/新興電設工業(株)/新日本電子(株)/図研テック(株)/ソレキア(株)/タカ電子工業(株)/(株)ティー・エム・シー/(株)デジタルフォルン/(株)デストプラン/東洋通信工業(株)/(株)トップエンジニアリング/日産自動車(株)/日本エンジニアリングソリューションズ(株)/日本ギア工業(株)/日本電設電車線工事(株)/日本ビルコン(株)/ハル・エンジニアリング(株)/プライムエンジニアリング(株)/フレアーナガオ(株)/北都システム(株)/(株)マグトロニクス/山下システムズ(株)/UT エイム(株)/横浜エレベータ(株)

産業デザイン科

就職率
95.8%

(令和5年3月卒業生実績)



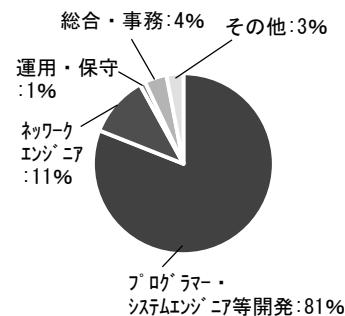
就職先

(株)エイジェック/(株)オーケー/(株)オキサイド/(株)オクタノルムジャパン/(株)キャラサーチ/(株)空ディメンジョンズ/(株)工研/(株)光電社/コマ印刷(株)/(株)コンテック/(株)佐々木鉄工所/三松堂印刷(株)/サンプラス(株)/シグノシステムジャパン(株)/湘南技術センター(株)/図研テック(株)/大成技研(株)/田中サッシュ工業(株)/(株)テクノアーク/トーカイ・パッケージングシステム(株)/ニッパ(株)/(株)ノムラプロダクツ/(株)日産オートモーティブテクノロジー/(株)日豊エンジニアリング/(株)ビットエイ/(株)プライムエンジニアリング/(有)フォトスタジオアライ/北斗(株)/(株)ホリ/(株)ユニバーサル建設/四元工業(株)/ヨコキ(株)/(株)リガルジョイント

情報技術科

就職率
100%

(令和5年3月卒業生実績)



就職先

アークシステム(株)/(株)アールシーエス/(株)アイオライト/アウェイクアイ(株)/(株)アウトソーシングテクノロジー/(株)アクロイト/(株)アパールデータ/(株)アルプス技研/(株)イオ/(株)エイジェック/エクシオ・システムマネジメント(株)/(株)エスシー・マシーナリ/(株)エヌ・ケイ/(株)エフ・トレード/(株)オリンピア・システムズ/(株)キーマネジメントソリューションズ/技研電子(株)/(株)クエリ/(株)クロステック/(株)ケイテック/公益財団法人神奈川県結核予防会/国際通信企画(株)/(株)コスモス/(株)三技協イオス/(株)システムクリエイション/システムバック(株)/(株)テクノウェア/(株)テクノシステムズ/(株)デジタルフォルン/(株)東京コンピュータシステム/東西(株)/(株)ニューロネットワーク/ネクストレベルホールディングス(株)/(株)ハクエイ/ハル・エンジニアリング(株)/(株)FAT TRUNK/(株)VIPワークス/富士ソフト企画(株)/(株)フジソフトラボ/(株)富士テクノソリューションズ/(株)マイナビEdge/(株)メイテックフィルダーズ/(株)山一情報システム

2-9 年度別就職状況

令和5年3月31日現在

科名	年度	在籍者	在籍者の内 就職希望者	内定者	内定率	従業員 301名以上	従業員 300名以下	就職者の内		未定者
								自己開拓	自営	
生産技術科	H30	34 (4)	34 (4)	34 (4)	100.0 (100.0)	10 (1)	24 (3)	1	0	0 (0)
	R01	22 (0)	22 (0)	22 (0)	100.0 (-)	7 (0)	15 (0)	0	0	0 (0)
	R02	22 (1)	21 (1)	21 (1)	100.0 (100.0)	3 (0)	18 (1)	1	0	0 (0)
	R03	22 (2)	22 (2)	22 (2)	100.0 (100.0)	5 (1)	17 (1)	0	0	0 (0)
	R04	19 (0)	19 (0)	19 (0)	100.0 (-)	0 (0)	19 (0)	0	0	0 (0)
制御技術科	H30	34 (4)	27 (3)	27 (3)	100.0 (100.0)	16 (1)	11 (2)	2	0	0 (0)
	R01	24 (1)	21 (1)	20 (1)	95.2 (100.0)	9 (0)	11 (1)	0	0	1 (0)
	R02	25 (2)	22 (1)	22 (1)	100.0 (100.0)	3 (0)	19 (1)	2	0	0 (0)
	R03	21 (3)	17 (1)	15 (1)	88.2 (100.0)	11 (0)	4 (1)	1	0	2 (0)
	R04	13 (3)	13 (3)	13 (3)	100.0 (100.0)	5 (1)	8 (2)	0	0	0 (0)
電子技術科	H30	27 (1)	26 (1)	26 (1)	100.0 (100.0)	13 (1)	13 (0)	1	0	0 (0)
	R01	36 (4)	35 (4)	33 (4)	94.3 (100.0)	14 (1)	19 (3)	1	0	2 (0)
	R02	24 (0)	21 (0)	21 (0)	100.0 (-)	0 (0)	21 (0)	0	0	0 (0)
	R03	28 (1)	25 (1)	25 (1)	100.0 (100.0)	13 (0)	12 (1)	1	0	0 (0)
	R04	29 (2)	28 (2)	28 (2)	100.0 (100.0)	7 (2)	21 (0)	1	0	0 (0)
産業デザイン科	H30	33 (25)	33 (25)	33 (25)	100.0 (100.0)	3 (2)	30 (23)	4	0	0 (0)
	R01	30 (19)	29 (19)	29 (19)	100.0 (100.0)	6 (3)	23 (16)	0	0	0 (0)
	R02	33 (24)	30 (21)	27 (19)	90.0 (90.5)	14 (11)	13 (8)	0	0	3 (2)
	R03	35 (25)	33 (24)	32 (23)	97.0 (95.8)	9 (7)	23 (16)	16	0	1 (1)
	R04	29 (19)	24 (16)	23 (15)	95.8 (93.8)	6 (4)	17 (11)	7	0	1 (1)
情報技術科	H30	33 (4)	31 (4)	31 (4)	100.0 (100.0)	4 (0)	27 (4)	0	0	0 (0)
	R01	28 (1)	24 (1)	21 (1)	87.5 (100.0)	1 (0)	20 (1)	0	0	3 (0)
	R02	34 (5)	29 (5)	23 (5)	79.3 (100.0)	5 (2)	18 (3)	2	0	6 (0)
	R03	33 (5)	28 (4)	27 (4)	96.4 (100.0)	6 (0)	21 (4)	0	0	1 (0)
	R04	33 (6)	23 (3)	23 (3)	100.0 (100.0)	5 (0)	18 (3)	2	0	0 (0)
合計	H30	161 (38)	151 (37)	151 (37)	100.0 (100.0)	46 (5)	105 (32)	8	0	0 (0)
	R01	140 (25)	131 (25)	125 (25)	95.4 (100.0)	37 (4)	88 (21)	1	0	6 (0)
	R02	138 (32)	123 (28)	114 (26)	92.7 (92.9)	25 (13)	89 (13)	5	0	9 (2)
	R03	139 (36)	125 (32)	121 (31)	96.8 (96.9)	44 (8)	77 (23)	18	0	4 (1)
	R04	123 (30)	107 (24)	106 (23)	99.1 (95.8)	23 (7)	83 (16)	10	0	1 (1)

注：()内数字は女性で内数

求人状況

(求人企業数)

年度	求人企業数	300名超
H30	472	89
R01	459	110
R02	350	87
R03	360	102
R04	369	118

(求人数)

年度	求人数	300名超
H30	1080	287
R01	1486	648
R02	1240	619
R03	1308	736
R04	1560	961

2-10 年度別就職先企業一覧

	就職先企業名	平成30年度 卒業生	令和元年度 卒業生	令和2年度 卒業生	令和3年度 卒業生	令和4年度 卒業生	過去5年間 合計
1	(株)エイジェック	1	2	8	3	0	14
2	(株)ケイテック	1	3	2	2	4	12
3	エクシオ・システムマネジメント(株)	0	0	2	8	0	10
4	日産自動車(株)	4	1	1	3	1	10
5	(株)マイスターエンジニアリング	2	2	0	4	1	9
6	(株)アールシーエス	3	1	3	1	0	8
7	(株)マグトロニクス	2	2	1	2	1	8
8	応用電機(株)	1	2	2	2	0	7
9	(株)佐々木鉄工所	2	1	3	1	0	7
10	日本ギア工業(株)	1	2	2	2	0	7
11	日本ビルコン(株)	1	1	3	2	0	7
12	(株)オリンピア・システムズ	1	2	1	1	1	6
13	昭和精工(株)	2	2	1	1	0	6
14	(株)ティー・エム・シー	1	1	1	1	2	6
15	(株)テクモ	1	1	3	0	1	6
16	プライムエンジニアリング(株)	0	1	0	2	3	6
17	オサ機械(株)	1	2	1	0	1	5
18	(株)エム・イー	2	0	1	2	0	5
19	システムパック(株)	1	1	1	2	0	5
20	新菱工業(株)	1	0	1	2	1	5
21	図研テック(株)	1	0	1	1	2	5
22	デジタルフォルン(株)	0	0	4	1	0	5
23	(株)ヒップ	3	2	0	0	0	5
	その他	119	96	72	78	88	453
	計	151	125	114	121	106	617

2-11 令和4年度年間行事

月 日	行 事 内 容	対 象
4月5日(火)	入学式(新入生156名 うち男性114名、女性42名)	1年生
4月5日(火)	オリエンテーション	2年生
4月6日(水)～11日(月)	オリエンテーション	1年生
4月20日(水)	防災避難訓練	学生・職員
7月4日(月)、8月30日(火)	授業見学会(参加者12名)	高校教諭
7月8日(金)	開校記念日	
8月1日(月)～26日(金)	夏季休業	学生
9月30日(金)	健康診断	学生
11月5日(土)	文化祭	
11月16日(水)	防災避難訓練	学生・職員
11月18日(金)	公募推薦及び第1回一般入学選抜試験	
12月8日(木)	就職ガイダンス	1年生
12月27日(火)～1月5日(木)	冬季休業	学生
1月17日(火)～1月26日(木)	総合技能演習、技能照査、企業実習(インターンシップ)	学生
1月27日(金)	第2回一般入学選抜試験	
2月14日(火)～2月28日(水)	卒業研究発表	2年生
3月17日(金)	卒業式(卒業生118名 うち男性89名、女性29名)	2年生
3月17日(金)～4月4日(火)	春季休業	在校生
3月20日(月)	進級発表	1年生

就職説明会

6月13日(火)～14日(水)	合同企業説明会 参加企業：169社(推進協113社)	2年生
3月8日(水)～9日(木)	情報交流会 参加企業：推進協会員企業198社	1年生

公開講座

9月16日(金)	グッドヒューマンネットワーク講座(鈴木理那さん他)	学生
2月8日(水)	グッドヒューマンネットワーク講座(日本IBM㈱ 藤田一郎講師)	学生

オープンキャンパス

6月19日(日)	オープンキャンパス(第1回学校説明会、エンジニアセミナー) (参加者延76名)	一般・高校生・ 保護者・留学生
8月5日(金)	オープンキャンパス(第2回学校説明会、エンジニアセミナー) (参加者延べ48名)	一般・高校生・ 保護者・留学生
8月17日(水)	オープンキャンパス(第3回学校説明会、エンジニアセミナー、 入試説明会)(参加者延べ64名)	一般・高校生・ 保護者・留学生
10月2日(日)	オープンキャンパス(第4回学校説明会、入試説明会) (参加者延べ18名)	一般・高校生・ 保護者・留学生
12月11日(日)	オープンキャンパス(第4回学校説明会、入試説明会) (参加者延べ11名)	一般・高校生・ 保護者・留学生
1月29日(日)	高校2年生向けオープンキャンパス(学校説明、施設見学) (参加者延べ9名)	高校2年生・ 保護者

2-12 令和4年度トピックス

「ベトナムフェスタ in 神奈川 2022」に出展



●令和4年9月10日(土)～11日(日)

3年ぶりとなる「ベトナムフェスタ」が、日本大通りや象の鼻パークなどで開かれました。今年度、1年生と2年生あわせて6名のベトナム人留学生がおり、短大校をPRする絶好の機会と捉え、紹介ブースを出展しました。彼らのコメントを日本語とベトナム語で記したパネルを、熱心に見てくださっている様子が印象的でした。2日間で600名を超える来場者があり、「KCIT」を周知することができました。

また、10日、県庁大会議場で行われた「留学生スピーチコンテスト」に、短大校から2名出場し、3月に制御技術科を卒業した第1期生のカオ ミン タイさんが、見事、最優秀賞を受賞しました。

「テクニカルショウヨコハマ2023」に出展



●令和5年2月1日(水)～3日(金)

首都圏最大級の工業技術見本市「テクニカルショウヨコハマ2023」に出展し、各学科紹介、卒業制作・研究作品の紹介、企業とのコラボレーション等の展示を行いました。

開催期間中、多数の企業の方々に当ブースを訪問していただき、改めて短大校が推進する高度な教育訓練に対する関心の高さがうかがえました。

198社が参加して「職業能力開発情報交流会」を開催



●令和5年3月8日(水)～9日(木)

来春卒業予定の1年生を対象とした「職業能力開発情報交流会」を開催しました。2日間、午前・午後の4回で、昨年を上回る198社の会員企業に参加いただきました。

本交流会が、就職活動の実質的なスタートとなる学生は、興味のある企業ブースを複数訪問し、会社概要や業務内容の説明を受けていました。春休み中の企業訪問の日取りを決めるなど、積極的な学生も多くいました。

「ものづくりシッププロジェクト」3作品を認定

●令和4年3月16日(木)

各種の行事や授業、その他業務運営で使用できる「もの」を、卒業研究等で製作してもらう「ものづくりシッププロジェクト」の令和4年度の認定式がありました。今年度は、以下の3点が認定されました。



生産技術科	関口 海さん 「ロッカー上部に物が置けない対策物の製作」
電子技術科	許 文宣さん 「スポーツカウンター」
産業デザイン科	佐藤 陸さん 「校長室執務椅子」

2-13 競技大会

(1) 第17回若年者ものづくり競技大会

第17回大会は、令和4年7月26日(火)～28日(木)に広島産業会館をメイン会場として開催されました。短大校からは、4職種に4名の学生が参加しました。今大会から、新たに「フライス盤」職種に挑戦を始めました。目指していた入賞は果たせませんでした。大会という緊張感の中、課題に取り組む姿に学生の成長を感じることができました。

フライス盤職種



生産技術科 本目眞浩さん

「電子回路組立て」職種



電子技術科 田中康太さん

旋盤職種



生産技術科 大井拓登さん

「グラフィックデザイン」職種



産業デザイン科 尾栢実優さん

(2) Honda エコ マイレージ チャレンジ 2022

令和4年10月1日(土)～2日(日)に、栃木県のツインリンクもてぎで開催された「Honda エコ マイレージ チャレンジ 2022 第41回全国大会」に参加しました。この大会は、規定走行距離を規定時間以内に走行し、燃料の消費量の少なさを競う大会で、省エネ研究部の2台が「大学・短大・高専・専門学校生クラス」に出場しました。エントリー47台中、8位と9位の上位入賞を果たしました。



2-14 しごと・ものづくり学習支援

将来の製造業の担い手不足の問題は、急激な少子化の進行に伴う若年人口の減少に加えて若者のものづくり離れによって、今後一層深刻化していくことが懸念されます。このため、ものづくりの啓発を行うことはますます重要と考えます。

本校では、小学生に「ものづくり」への興味や憧れを持ってもらい、将来、ひとりでも多くものづくりの担い手となってもらうため、推進協議会の支援のもとに近隣の小学校のご協力をいただきながら、「しごと・ものづくり学習支援」を平成 28 年度から実施しています。新型コロナウイルスの影響で直近 2 年間は中止を余儀なくされましたが、令和 4 年度は、感染症対策を徹底しながら実施しました。

(1) 小学校高学年を対象とした「ものづくり体験」

中尾小学校の 4 年生から 6 年生の 33 名を迎え、令和 4 年 8 月 26 日（金）に開催しました。

「ものづくり体験」の課題は、「LED 付き壁掛け式キーフック」です。子供たちは、はんだ付け作業・木材加工作業・ホームページ制作作業の 3 つの分野の作業を体験しながら作品を完成させました。難しいと感じる作業もあったようですが、すべての子供たちが楽しい時間を過ごせたようです。



今回も、準備・運営・指導のスタッフとして、学生が参加しています。子供たちとの関わりの中で、教えることの難しさを実感するとともに、できた時の喜びを一緒に感じるなど、貴重な経験を得る機会となりました。

(2) 小学3年生を対象とした「たんだい探検ツアー」

中尾小学校の3年生41名を迎え、令和4年9月20日（火）に開催しました。

本校の「デザイン」「機械加工」「電子技術」「情報処理」の授業風景を見学するとともに、学生と交流しながら実習場の見学や以下のような体験をしました。参加した小学生からお礼のお手紙を頂き、「短い時間だが楽しかった」「ものづくりは面白い」「新たな発見があった」などの嬉しい言葉がありました。

- 【体験内容】
- ①デザイン分野「アクリル製ネームプレートづくり体験」
 - ②機械加工分野「ミステリー体験・プレート製作」
 - ③電子技術分野「電気・電子の世界体験」
 - ④情報処理分野「ビジュアルプログラミング体験」



2-15 公開講座(グッドヒューマンネットワーク講座)

様々な分野で活躍している方をお招きし、業界の最新事情や貴重な体験をご講演いただきました。

- 第37回 令和4年9月16日(金) (短大校 体育館)
 講師:鈴木理那さん (サポート)平田しずくさん、内藤奈衣亜さん、小林柚貴さん、
 宮田愉日さん(NPO法人SoELa)
 テーマ:「夢のために、可能性を切り開く～希望に満ちた将来に向かって躍動!～」

- 第38回 令和5年2月8日(水) (短大校 大教室 及び校内オンライン配信で開催)
 講師:藤田一郎氏(日本IBM株式会社 テクノロジー事業部)
 テーマ:「情報技術が拓く未来」

過去の実施状況

- 令和3年度 第36回 中尾博 氏(いすゞ自動車株式会社 広報・渉外部 広報グループ シニアエキスパート)
 「働く車のものづくりといすゞプラザバーチャル見学」
- 第35回 NPO法人SoELa、他関係団体の方々
 「自ら目標を掲げ、挑戦する!～自律的・主体的に行動し社会に貢献する若い力～」
- 令和2年度 第34回: 長田展明 氏(葛が谷つばさクリニック院長)
 「新型コロナウイルスに負けるな!～正しい情報と防御対策を～」
- 令和元年度 第33回: 平田大登 氏(横浜市国際学生会館館長)
 「留学生と学び、外国人と生きる～日本を選ぶ留学生への支援と今後急増する外国人との共生について～」
- 第32回: 石田太志 氏(プロフットバッグプレイヤー)
 「目標の達成、夢の実現～行動する勇気と継続する情熱～」
- 平成30年度 第31回: 平田直 氏(東京大学地震研究所教授)他
 「最新の観測と防災知識によって、大地震に備える」
- 第30回: 蜜咲ぼう 氏(飴細工師)、marino 氏(歌う紅茶屋さん)
 「自分の可能性を切り開く～飴細工アーティストと紅茶アーティストの未知なる挑戦～」
- 平成29年度 第29回: 三遊亭楽麻呂 氏(落語家)
 「話し方のコツ」
- 第28回: 根本明 氏(株式会社石音代表取締役)
 「目のつけどころの鍛え方～面白い人をめざそう～」
- 平成28年度 第27回: 住田一男 氏(一般社団法人人工知能学会事務局長)
 「人工知能は人の仕事を奪うのか?」
- 第26回: 川名マッキー 氏(株式会社ビー・キューブ代表取締役)
 「スムーズなコミュニケーション術」
- 平成27年度 第25回: 篠原雅尚 氏(東京大学地震研究所観測開発基盤センター)
 「新技術で進展する海域における地震・津波観測」
- 第24回: 吉田尚記 氏(株式会社ニッポン放送アナウンサー)
 「コミュニケーションの極意」
- 平成26年度 第23回: 岩崎育夫 氏(森永製菓株式会社コーポレートコミュニケーション部広告グループデジタルコミュニケーション担当)
 「web動画を活用したコミュニケーション戦略」
- 第22回: 森下信 氏(横浜国立大学教授 環境情報研究院長 環境情報学府長 工学博士)
 「最先端ロボット開発の現状と将来像」
- 天野久徳 氏(消防庁消防研究センター特別上席研究官 博士(情報学))
 「消防活動におけるロボット技術の活用」

2-16 企業在職者のための能力開発施設としての機能

(1) 事業の概要

本校は、専門課程の高度職業訓練の実施とともに、本県の職業能力開発を推進する中核施設として、職業技術の高度化に対応する企業在職者のための能力開発や、施設の利用援助事業を実施しています。

(2) 在職者等訓練事業の計画と実績

企業の在職者を対象に、メニュー型及びオーダー型の専門短期課程の高度職業訓練を実施しています。

- ・メニュー型・・・「スキルアップセミナーガイド 2023」やホームページ等で広報を行い、機械、制御、電子、情報、デザインの各分野及び、ビジネススキル、生産管理系の2日間または4日間のセミナーを実施しています。
- ・オーダー型・・・企業の方々からの相談に応じて、受講者の要望に沿った内容のセミナーを企画し実施しています。

(数字は延べ人数)

職系・科名	令和5年度計画	令和4年度	
		計 画	実 績
生産技術科	140 (130、 10)	140 (130、 10)	85 (85、 0)
制御技術科	120 (110、 10)	120 (110、 10)	80 (80、 0)
電子技術科	130 (120、 10)	130 (120、 10)	67 (67、 0)
産業デザイン科	140 (130、 10)	140 (130、 10)	51 (47、 4)
情報技術科	370 (130、 240)	370 (130、 240)	214 (112、 102)
生産管理系	600 (600、 0)	600 (600、 0)	391 (391、 0)
合 計	1,500 (1,220、 280)	1,500 (1,220、 280)	888 (782、 106)

※ () 内の数字は、(メニュー型、オーダー型)の内数

(3) 施設の利用援助事業

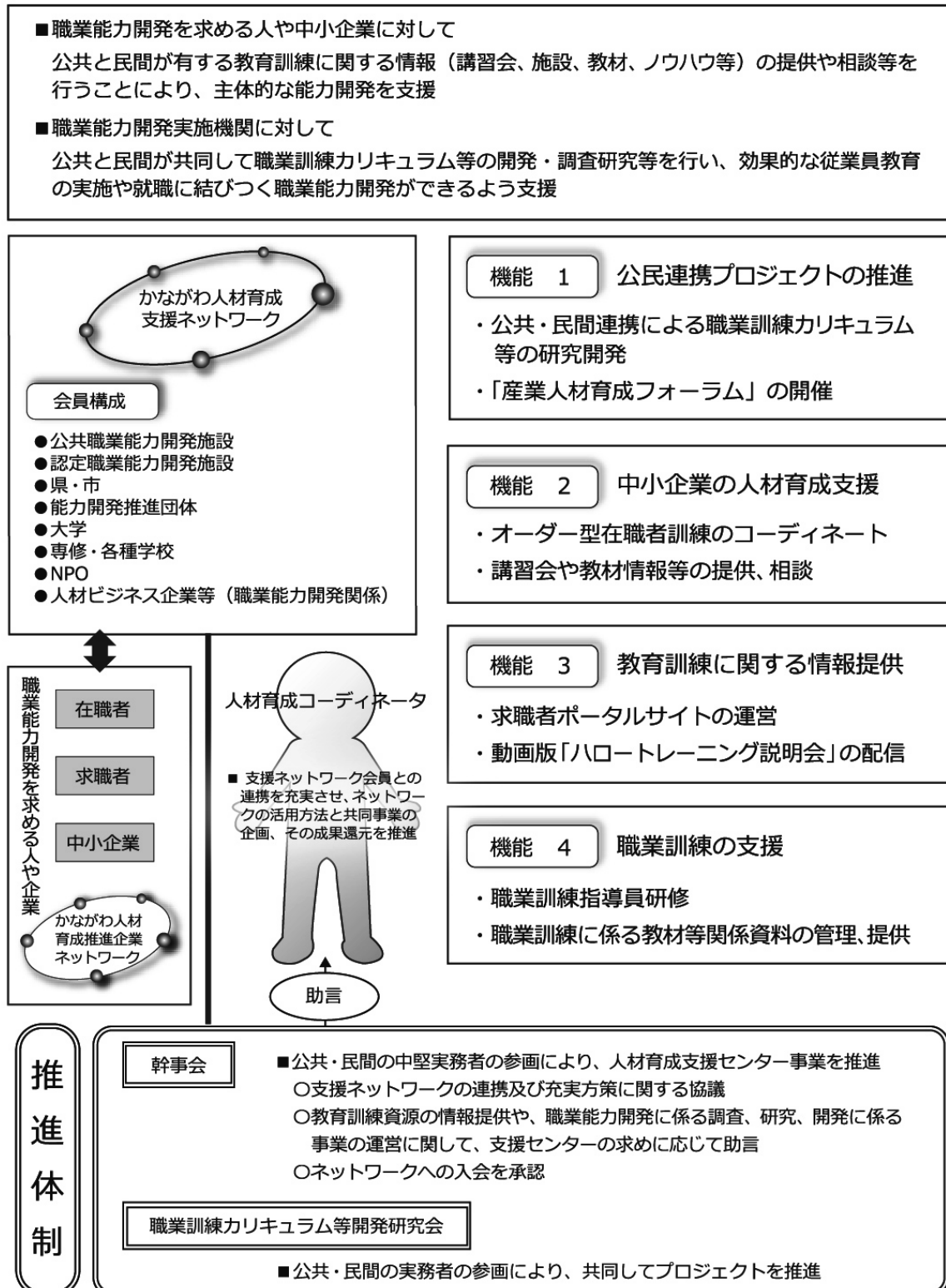
法に基づき、事業主などが行う職業訓練・技能検定等に対し、その実情に応じて必要な援助等を行っています。

- ・事業内職業訓練に関する援助・・・神奈川県塗装技能訓練校 他3団体
- ・技能検定等に関する援助・・・神奈川県建設労働組合連合会 他

2-17 人材育成支援センターとしての機能

本校では、職業能力開発における本県の中核施設の機能を果たすため、「人材育成支援センター」を設置し、民間と公共の連携によるカリキュラム開発や中小企業の人材育成支援、求職者への教育訓練情報の提供等を推進しています。

人材育成支援センターの機能



人材育成支援センターは、主として次の4つの機能を有し、人材育成に関する総合的な支援の拠点としての役割を果たしています。各事業の内容と令和4年度の実績は次のとおりです。

(1) 公民連携プロジェクトの推進

職業能力開発に係る多様な教育訓練資源を有する民間団体（各種学校、企業、NPO法人等）と公共職業能力開発施設等が相互に連携し、人材の育成活動、事業を支援するかながわ人材育成支援ネットワーク（195会員）の協力のもと、情報の共有化と教育訓練資源の充実を図っています。また、かながわ人材育成推進企業ネットワーク（496企業）を運営し、会員企業に人材育成に関わる情報を提供するとともに、人材育成に関するニーズを把握し、事業に活かしています。

① 民間・公共連携による職業訓練カリキュラム等の研究開発

上記のニーズ把握に基づき、職業訓練カリキュラムの開発をはじめとする調査研究を行っています。

また、調査研究の成果をもとに本校で開催する在職者等訓練においてセミナーを実施するとともに、成果物であるテキストを希望する企業・団体に提供するなど、幅広く活用できるようにしています。

令和4年度 実績 (令和5年度も 継続研究)	2つのテーマについて調査研究を実施 ・階層別研修体系作成プログラム開発 ・リーダー研修プログラム開発
------------------------------	--

② 「産業人材育成フォーラム」の開催

かながわ人材育成支援ネットワーク会員をはじめとする企業等の在職者、求職者等に対し、職業能力開発に関する意識啓蒙や教育訓練に関する情報を広く提供するため、「産業人材育成フォーラム」を開催しています。

令和4年度 実績	令和4年9月16日 短大校体育館 「夢のために、可能性を切り開く」講演とダンスパフォーマンス 講師：東洋大2年 鈴木理那氏 他 令和5年1月17日 鎌倉芸術館大ホール 「～元タカラジェンヌのセカンドキャリア～自分らしさを知り、未来を切り開いていく」講演とトークショー、歌唱パフォーマンス 講師：瞳ゆゆ氏、永楠あゆ美氏、芽吹幸奈氏
----------	---

(2) 中小企業の人材育成支援

① オーダー型在職者訓練コーディネート

従業員に対し企業内部で教育訓練を行うことが難しい中小企業等からの相談に応じて実施する、オーダー型在職者訓練のコーディネートをしています。

当センターに所属する在職者訓練コーディネータ4名が企業を訪問し、訓練ニーズを把握し、日程や訓練内容等の要望を伺い、職業技術校等での訓練実施に向けて調整を行います。

② 講習会情報や教材等の提供・相談

オーダー型在職者訓練のコーディネート過程で寄せられたさまざまなニーズに対して、他機関が実施する講習会情報や教材の提供など、きめ細かく的確な支援ができるよう努めています。

令和4年度 実績	<ul style="list-style-type: none"> ・オーダー型在職者訓練のコーディネート件数 ・オーダー型在職者訓練実施講座数 ・教材提供等の相談や紹介件数 	2,154 件 71 講座 18 件
----------	---	--------------------------

(3) 教育訓練に関する情報提供

① 求職者ポータルサイトの運営

民間・公共の教育訓練資源情報(講習会、施設、教材、カリキュラム等)を一元化し、インターネット等で情報提供するとともに、求職者が適職相談や就職対策講座、職業訓練相談などに関する情報を取得できるポータルサイトを運営しています。

② ハロートレーニング(公共職業訓練)の案内

求職者等へのキャリア支援のため、神奈川県内で実施されるハロートレーニング(公共職業訓練)の情報を動画版「ハロートレーニング説明会」として、インターネットにより配信するとともに、かながわ若者就職支援センターにおいて説明会を開催し、神奈川県立の短大校や職業技術校等のみならず、他機関が実施する公共職業訓練についても幅広く情報提供しています。

令和4年度 実績	<ul style="list-style-type: none"> ・動画版「ハロートレーニング説明会」視聴回数 ・ホームページを利用した情報等の提供件数 	1,160 回 40,912 件
----------	--	---------------------

(4) 職業訓練の支援

① 職業訓練指導員研修

短大校や職業技術校等で訓練を担う指導員の指導スキル向上のため、「職業訓練指導員研修委員会」を設置して、委員会の運営から受講手続き、受講後のフォローまでを一貫して行っています。

指導員個々の専門的な知識・技術・技能を高めるための研修はもとより、特に近年は教育現場のハラスメント問題への対応や、特別な配慮を必要とする訓練受講者への対応が課題となっているため、指導員全員の共通能力向上を目的に、そうしたテーマの研修を継続的に企画・実施しています。

② 職業訓練に係る教材等関係資料の管理、提供

収集した職業能力開発に関わる資料や教材、当センターで開発した教材や研究開発の成果物を管理し、関係各機関からの要請を受け提供を行っています。また、神奈川方式の訓練単位について、各総合職業技術校及び神奈川障害者職業能力開発校からの依頼を受け、登録作業を行っています。

令和4年度 実績	職業訓練指導員研修の受講者数	82 コース 730 名
----------	----------------	--------------



令和5年2月に竣工した西キャンパス



神奈川名工会より寄贈された
神代杉を用いた「ランプシェード」